

# 理学療法研究セミナー

[演習] 第3学年 通年 必修 2単位

《担当者名》○高橋尚明 nao-takahashi@hoku-iryo-u.ac.jp、只石朋仁、鈴木英樹、小島悟、山口明彦、武田涼子、吉田晋、大須田祐亮、長谷川純子、佐々木祐二、澤田篤史、井上恒志郎、岩部達也、山根裕司、中村宅雄、佐藤一成、多田菊代、阿部隆宏、谷口翔平、用田歩

## 【概要】

全学教育科目、専門基礎科目および専門科目において学んだ知識を基盤としながら、少人数のゼミ形式を基本とした指導体制のもと、文献検索方法の学修や論文抄読を通じて、理学療法学分野における新たな研究課題を探索する。

## 【学修目標】

理学療法分野における科学的基盤を構築していくため、文献検索や論文抄読を通して新たな研究課題を探索することができる。

1. 研究に必要な情報収集ができる。
2. 様々な研究手法について理解し説明することができる。
3. 研究計画の立案ができる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 30	研究課題の探索	各ゼミ担当教員の指導のもと、理学療法分野や隣接領域における研究レビューや実験的検証を行いながら、研究課題を探索する。	担当教員全員

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。

## 【評価方法】

ゼミへの積極的な参加 60%

各ゼミ内で設定された課題（研究課題の探索を含む） 40%

## 【教科書】

特に指定しない。

## 【参考書】

特に指定しない。

## 【学修の準備】

各ゼミの担当教員の指示に従い研究セミナーのテーマについての準備および課題の整理をしておくこと。予習（セミナーの準備）についてはおおむね80分、復習（課題の整理など）についてはおおむね80分、計160分の予習・復習の時間が必要。

## 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP6）社会の変化や科学技術の進歩に対応できるよう、常に専門領域の検証と、積極的な自己研鑽および理学療法科学の開発を實踐できる能力を身につけている。